

【投稿原稿】国際交通安全学会誌『IATSS Review』査読規定

国際交通安全学会誌『IATSS Review』（以下、学会誌）は、よりよい交通社会の実現に寄与する知見を含む原稿を掲載し、読者に有益な情報を提供するために、査読制度を採用しています。

1. 査読の目的

査読は、読者に有益な情報を提供するために、投稿原稿の内容を客観的に評価して、掲載の可否を判定するための資料を編集委員会に提供することを目的としています。

2. 査読にあたっての注意

- (1) 査読者は、原稿の内容および査読の内容について守秘義務を負います。
- (2) 査読は、掲載の可否を判定するための資料を提供するもので、投稿原稿の改善を図ることが目的ではありません。原稿の内容に対する一切の責任は著者にあります。

3. 査読者

- (1) 査読は、編集委員会により選出された3名の査読者によって行います。そのうち1名は編集委員、2名は当学会会員等から選出します。
- (2) 個々の原稿についての査読者名は公表しません。

4. 査読の期間

事務局が原稿到着を確認した日を原稿受付日とし、それ以降に最初に開催される編集委員会にて査読者の選出を行い、査読の依頼をします。査読は、原則として、依頼した日から4週間以内とします。

5. 査読の方法（査読報告書の内容）

(1) 評価基準

査読者は、「学際性」、「有用性」、「信頼性」、「独創性」の4項目で評価します。また、「文章・表現」について、問題点があれば指摘します。

(2) 原稿区分

投稿原稿の原稿区分とその内容は次の通りとします（原稿は原則として未発表のものとしてします）。

- 投稿論説：研究、調査、実験、現象、理論、政策等について、内容の是非を論じ、自説を述べている、または説明しているもの。学術上あるいは応用上、有用な情報を含むもの。
- 投稿論文：理論的または実証的な研究成果であって、独創性、有用性、信頼性、学際性を有し、かつ論文としての完成した体裁を備えているもの。
- 投稿ノート：速報性のある研究成果。もしくは、論文としての完成度は十分ではないが、掲載の価値が認められるもの。

(3) 評価結果

① 掲載可否

査読者は、(1) の評価をもとに、(2) の原稿区分とその内容に照らして、申請区分としての掲載可否を評価します。

なお、「投稿論文」として投稿されたものについて、その基準に達していないが「投稿ノート」としての基準を満たしている場合は、「投稿ノートとして掲載可」と評価します。

② 修正・再査読

査読者は、「掲載可」と評価した場合、修正の必要性について評価します。また、「修正要」と判定した場合、再査読の必要性について評価します。

③ 評価理由

査読者は、掲載可否を評価した理由を記述します。

(4) 査読者の意見

査読者は、修正すべき又は修正が望ましい内容や疑問・確認事項について、意見を記述します。この意見は、編集委員会で確認後、原則として、そのまま著者に提供されます。

6. 掲載可否および掲載区分の判定

編集委員会は、査読報告書をもとに、掲載可否および掲載区分を判定します。また、修正の必要性および再査読の必要性についても判定します。

7. 判定結果および修正依頼の通知

編集委員会は、著者に対して、判定結果および修正依頼の通知をします。修正原稿が期限までに提出されなかった場合は、原則として掲載放棄とみなします。

8. 再査読

(1) 修正原稿の再査読が不要の場合は、編集委員会が修正内容について確認します。

(2) 修正要と評価し、かつ、再査読要と評価した査読者には、編集委員会の判定に基づき、再査読を依頼する場合があります。その場合は、修正依頼で示した掲載の条件に対して、妥当な修正がなされているかどうかのみで、再度評価いただきます。その評価を参考にして、編集委員会が最終的に掲載可否及び掲載区分を判定します。

附則

本査読規定は、2012年9月28日以降に受付の原稿から適用する。

2012年9月28日制定